



硬式野球部は甲子園出場を目標
としながら、社会でレギュラーと
して活躍する人材の育成を目的と
します。

【都立小岩高校硬式野球部心得 ～小岩スタイル～】

- ・「甲子園が迎えに来るチーム」を追求する。
- ・「甲子園」に挑戦するという熱い気持ちを持ち続ける。
- ・「自分で考えて行動できる人間・集団」になる。
- ・良い選手である前に良い高校生である。

【部員数】※2026年2月現在

- ・2年生10人（選手9人、マネージャー1人）
- ・1年生10人（選手9人、マネージャー1人）

計20人

【活動内容】

- ・春季大会、選手権大会（東東京大会）、秋季大会、FFC（一年生大会）
- ・練習（朝、放課後、土・日・祝日）
- ・練習試合（3月～11月の土・日・祝日、平日ナイター）
- ・夏季合宿（7月下旬～8月上旬 3泊4日 茨城県）
- ・Tボール&野球教室（12月下旬）

活動の特色① 自ら考えて行動できる人間を目指し自主練習時間を設けます。

- ・平日の全体練習は1時間～1時間半程度。残りは自分の時間です。野球ノートや目標記入シートを活用し、各々が成長する時間につなげます。自主的に行動する力が身に付きます。

活動の特色② 間食をとり、体作りに励みます。

- ・食事量のノルマはありません。各自が間食をとり、エネルギー切れの状態を作らず、活気ある練習を行います。技術向上、ケガ防止のための土台作りです。

活動の特色③ ユニークな練習用具を活用します。

- ・様々な道具を使用し、身体の感覚を強化する練習に取り組みます。
(例：網のないグラブでの守備練習、細い鉄バット・長いバットでのバッティング練習、スライドボードで下半身と体幹を鍛えるトレーニングetc)

活動の特色④ 外部講師と連携をとり、活動します。

- ・理学療法士の方と週2回、体作りやケガ防止のトレーニングを実施します。

【練習環境】

右翼72m、中堅100m、左翼100m のグラウンドをサッカー部、陸上部と共用しています。日没が早い時期でもLED照明のもと、練習に励みます。



【練習試合】

- ・年間で100試合程度の練習試合を行います。試合は大体が校外です。遠方へのバス遠征もあります。チームを2つに分けて練習試合を行っています。

【大会成績】

・春季東京大会

2017年～2019年	本大会出場
2022年	ブロック予選決勝進出
2023年	本大会出場
2024年	本大会出場
2025年	本大会2回戦

・選手権大会（東東京大会）

2017年～2020年	ベスト32
2021年	ベスト16（ベスト16初進出）
2022年	3回戦
2023年	2回戦
2024年	1回戦
2025年	1回戦

・秋季東京大会

2020年～2021年	ブロック予選決勝進出
2022年	本大会出場（秋季は初出場）
2023年	ブロック予選1回戦
2024年	ブロック予選決勝
2025年	本大会2回戦（ベスト32）

・FFC（Freshman Friendly Cup、埼玉・東京を中心に約30校の1年生チームが参加）

2022年	決勝トーナメント2回戦（ベスト8）
2023年	決勝トーナメント1回戦
2024年	決勝トーナメント1回戦
2025年	予選リーグ敗退

【進路】

4年制大学、専門学校、就職等、卒業後は多方面で活動しています。

卒業生進路先

5 6 期 【大学】 日本大学 日本工業大学 亜細亜大学 帝京大学 国土館大学

聖学院大学 麗澤大学 了徳寺大学 明海大学

【専門】 トヨタ自動車大学校 新宿調理専門学校 日本電子専門学校

5 7 期 【大学】 亜細亜大学 国土館大学 順天堂大学 千葉工業大学 日本大学

帝京科学大学 日本体育大学 立正大学 了徳寺大学

【就職】 航空自衛隊 警視庁 神奈川県警事務

【進学準備】 1 名

5 8 期 【大学】 共栄大学 東洋大学 大東文化大学 亜細亜大学 国土館大学

【専門】 日本工学院専門学校 新宿医療専門学校 タカラ美容専門学校

【就職】 刑務官

5 9 期 【大学】 青山学院大学 東洋大学 拓殖大学 桜美林大学 産業能率大学

日本体育大学 東京経済大学 東邦大学 国土館大学 獨協大学

日本大学 東京工科大学 日本大学短期学部

【専門】 華学園栄養専門学校 日本美容専門学校 日本工学院専門学校

大阪スクールオブミュージック専門学校

【就職】 船橋市消防局

6 0 期 【大学】 専修大学 日本大学 駒沢大学 拓殖大学 千葉商科大学

日本体育大学 S B C 医療大学 国土館大学 獨協大学 麗澤大学

城西大学 帝京科学大学

【専門】 窪田理容美容専門学校 俳優養成学校

【就職】 経済産業省

6 1 期 (令和 7 年度 3 年生)

【進学準備中】

【スタッフ紹介】

監督 茶川 剛史 (保健体育科)

球歴 都立城東高校— 早稲田大学(準硬式)—早稲田大学大学院修士課程

都立城東高校では主将として2001年夏の甲子園に出場

指導歴

- 成蹊高校（助監督） 2009年
- 都立鷺宮高校（助監督） 2011年～2013年
- 都立淵江高校（監督） 2014年～2020年3月
2017年夏 東東京大会ベスト16進出
- 都立小岩高校（監督） 2020年4月より監督就任
2022年夏 東東京大会ベスト16進出

責任教師 松尾 繁樹（社会科）

指導歴 都立城東高校 — 都立大島高校 — 都立第三商業高校 —

都立足立高校 — 都立小岩高校(2021年着任)

助監督 池田 耕平（社会科）

指導歴 都立足立高校 — 都立小岩高校（2023年着任）

外部指導員 竹内 望和人（理学療法士）

経歴 日野ボーイズ — 永山高校 — 日本工学院八王子専門学校 —

東京衛生学園専門学校 — 現職

【監督からひと言】

一人の高校生として勉学に励み、礼儀を重んじ、規律を遵守できる生徒であるよう

日々指導しています。環境が自分を成長させてくれていることに感謝し、周囲の模範になるよう自らを律し、行動することで社会に必要とされる人間になってほしいと考えています。その上で本気になって「甲子園」に挑戦していきたいと思っています。

取り組む姿勢が大事！ともに新たな歴史を作りましょう！！

☆ 練習はいつでも見学できます。学校（03-3651-2250）までお問い合わせください。